

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Aグループ テーマ「住みやすい街作り＝観光客にやさしい街」

1. 共通テーマ

- ①今の京都のまちをより良くしていくために一番何が大事だと思いますか？
 ②京都市政に望むことは何ですか？

「交通網・道路の整備」、「景観の維持」、「地域とのつながり」など、これらの改善を望む声が多いことがわかった。

個別テーマ2. 刷新①市政への市民参加

多数の方が市民参加を必要と考えているが、その方法が少なく、メールでの参加など、参加しやすい環境を整えてほしいとの意見が多くあった。

3. 環境

- ①歩いた方が楽しいまち京都
 ②毎日快適にすごせる街

路上駐車、歩道への駐輪、喫煙マナーなどを改善し、安全で綺麗な街にするためには、一定の規制も必要だという意見が多数あった。

3. 知恵①世界一の観光都市を目指すために

京都市は魅力的な街だと思い、観光客にも好意的な考えの方も多数おられることで、今後は観光客とどのように共存していくかが課題だとわかった。

②地域のつながりを大切にしたまちづくり

地域のつながりを必要なことだと分かっているが、自身の生活が優先され、参加に消極的になっている方が多いと分かった。
 まず行政として、積極的な広報活動をする必要があると感じた。

4. いのち①子どもの笑顔が見られる場所

子どもの成長に合わせて、地域とのつながりを求めている母親が多いと感じた。

②あなたの考える健康づくり

健康ブームもあり、たくさんの方が健康に気を使っていると分かった。

健康は自身で守るものなので行政へは期待していない、それより、全市民に意識の向上を図る呼びかけなどをしてほしい言う声が印象的であった。

5. ひと①あなたの理想の学校は？

学校、親、地域のつながりを必要と考えている人は多いと分かった。
 少人数制や京都ならではのカリキュラムを望む声もあった。

②スポーツで育むコミュニティ

大半の方がスポーツに興味を持っているが、時間・場所の問題で実際にはその半数ほどの方しかスポーツを楽しめていないと分かった。

身近な学校施設などの有効活用や広報活動の充実で、まだまだスポーツ人口を増やせると分かった。

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Aグループ（実施日：平成20年9月24日）

1班 「ひと」“スポーツで育むコミュニティ”

- ・ 回答者41名のうち、若い人（30歳未満）が12名（27%）、お年寄りの方（60歳以上）が21名（51%）
- ・ 全回答者のうち、無職が13名（32%）、会社員が12名（27%）、主婦が8名（20%）

《まちをより良くしていくために》

マナー

- ・ 地下鉄が高い
- ・ 路面電車、LRTが欲しい

- ・ 運転マナーが良くない
- ・ 違法駐輪禁止

- ・ 路上喫煙禁止を市全域に
- ・ マナー教育を

- ・ 駅に自転車置き場を
- ・ 歩きやすい歩道を

- ・ 緑が少ない
- ・ 鴨川河川敷の自然を残して

道路環境

回答者の85%がスポーツに興味を持ち、その半数がスポーツをやっている。

スポーツができない理由

- ・ 施設が少ない
- ・ 料金が安い
- ・ 子連れで利用しづらい
- ・ 時間と機会が少ない
- ・ 施設やイベント情報が少ない

2班 「知恵」“世界一の観光都市を目指すために”

《共通テーマ》

- ・ 共通テーマに対する上位意見として、観光関連が12票、景観関連が7票
- ・ 歩道の整備や公共交通の利便性向上などの交通問題や、ゴミ問題の解決への意見が多い

《個別テーマ》

- ・ 京都は魅力的と考える人が多く、歴史的建造物の多さを魅力と考えている
- ・ 観光客を増やすためには、渋滞や公共交通のほか、歩きやすい道づくり、自転車の利用など、移動性を高める意見が多い
- ・ また、大阪・神戸との連携や、観光イベントの開催などソフト対策も重要とする意見もみられる

京都は魅力的なまち？

どこが魅力的？

ほぼ全員がYES

寺社仏閣が大半

『問題提起』

- 京都は本当に、魅力ある都市か？
- 地元市民にとって観光客が増えるメリットは？
- 市民が現在の京都又は10年後の京都のまちに望むことは？

3班 「いのち」“子供の笑顔が見られる場所”

『遊び場はありますか？』

- ・ 大半の人が「ある」と答えている

- ・ 公園（7）
- ・ 児童館（2）
- ・ 小学校
- ・ 未来館（3）
- ・ 市民プール
- ・ 御所 等

『遊び場は足りていると思いますか？』

- ・ 大半の人が遊び場が足りないと答えており、遊び場はあるものの、その量や質に問題があると考えている人が多い

- ・ 徒歩圏内に少ない
- ・ 公園はあるが狭い、安心できない
- ・ 自然は多いが施設などが無い
- ・ 遊び場は足りているが、預けられるような施設が少ない 等

『どんな場所がいいですか？』

- ・ 室外では公園、室内ではこども未来館のような施設を望む声が多い

室内：公園、植物園、海浜公園、安全な公園、自然の中 等
室外：こども未来館、児童館、公共施設で預けられるところ、幼いときは遊具のあるところ 等

『どのような施設が必要ですか？』

- ・ 施設自体の安全性とともに、施設までの交通の安全性、地域とのつながりを実感できる施設ニーズがみられる

- ・ 施設より。人や地域のつながりをつくること
- ・ 地域のコミュニケーションを高めることのできる施設 等

4班 「環境」“歩いたほうが楽しいまち京都”

- ・ アンケート回答者総数49名

『マナー』

- ・ 自転車利用者のマナーが悪い（違法駐輪）
- ・ ゴミのポイ捨ての取締り

- ・ 学生への講義
- ・ 駐輪場、ゴミ箱の増設
- ・ 規制強化

『公共交通機関』

- ・ 市バス、地下鉄は便利との意見が多い
- ・ 市バスの本数が少ない

- ・ 渋滞の緩和
- ・ 時間帯交通規制
- ・ バス路線拡大延長

『観光客』

- ・ 歩けると人は集まる
- ・ 案内サービスの充実を
- ・ 交通に満足している

- ・ 配慮を増やす
- ・ 判りやすい案内

『美観』

- ・ 樹木を植える
- ・ 景色を良くする

- ・ 景観規制
- ・ 植樹・電線地中化

まとめ

“市民の理解を得られる規制や政策の展開”

5班 「刷新」“市政への市民参加”

- ・ アンケート回答者総数35名のうち、60代以上が19名と半数以上
- ・ 回答者の職業は、給与所得者と無職が9名、主婦が6名
- ・ 回答者の大半は、市内在住者（26名）

- ・ 10年は長い5年がベスト
- ・ 景気をよくして
- ・ 伝統文化に対する更なる支援を！

- ・ 少子高齢化への対応した制度づくり
- ・ 青少年非行の減少
- ・ 高齢者増加に対する早い対応を！

- ・ 市民目線での仕事
- ・ 住む人の意見を考へて
- ・ 市民意見を聞くべき
- ・ 誠実に職務を

- ・ 駐輪場の確保
- ・ 公共交通割安に！
- ・ 駐車を増やす！
- ・ バスの表示をわかりやすく！

市制への市民参加

“市民参加が必要とする意見が多数”

そのため

- ・ 夜に会議を開催！
- ・ メール等の多様な手段の活用！

10年後の京都市役所に望むこと

“観光都市としての発展”

そのため

- ・ 案内表示板をわかり易く！
- ・ 景観の保全！

6班 「いのち」“あなたの考える健康づくり”

- ・ アンケート回答者総数32名のうち、60代以上が16名と半数以上
- ・ 回答者のうち、半数以上が女性

『共通テーマ①』

- 中小企業を守る
- 車両数を減らす
- 景観を守る
- 地位コミュニティの活性化

『共通テーマ②』

- 区画の整備をして欲しい
- 京と市民の意見をもっと反映して欲しい
- 職員の対応の改善

“半数以上の人は健康診断を受けているが、44%の人が健康診断を受けていない”

- ・ 7割の人が健康に関して気を使っている
- ・ 健康に気を使っている人は、魚中心の食事をすることや、散歩などによる運動に心がけている
- ・ 一方、気を使っていない人は、忙しさやきっかけがないことを理由としている

『健康増進のための行政サポート』

- ・ 市民が参加しやすい健康教室
- ・ 環境
- ・ 食の安全
- ・ 制度

7班 「環境」“毎日快適にすごせる街”

【歩道】

- ・ 道が狭くて歩きにくい！
- ・ 自転車が歩道を走り危険だ
- ・ 路地が狭い、歩道の幅が狭い

【バリアフリー】

- ・ どこほこ道が多い
- ・ トイレが少ない
- ・ エレベーターの場所がわからない
- ・ ベビーカーに配慮して

【バス】

- ・ バス停の場所、路線がわかりにくい
- ・ バスの本数を減らすすぎ
- ・ バスの乗り方（どの方面に行くのか）わからない
- ・ 案内板が少ない

【駐輪場】

- ・ 迷惑な自転車の路上駐輪が多い
- ・ 駐輪場が少ない

【タバコ】

- ・ タバコのポイ捨て（火が危ない）
- ・ 歩きタバコが危険
- ・ 路上喫煙の取締り強化

じゃあ、どうすればいいの？

- 歩車分離
- 分煙
- 案内板の充実

8班 「知恵」“地域のつながりを大切にしまちづくり”

- ・ アンケート回答者総数35名のうち、50代以上の女性が12名と最も多い

『共通テーマ』

- 道路
 - ・ 道路改善
 - ・ 安全なまちづくり
 - ・ 安心して歩けるまち
- 教育
 - ・ 大学誘致が必要
 - ・ 若者が老人を支えるまちに
 - ・ 保育所の充実
- 市役所の改善
 - ・ 市民の意見をもっと聞いて欲しい
 - ・ 職員の態度の改善
 - ・ 税金を無駄にしないように
- その他
 - ・ ｺﾐｭﾆｭﾃｨの充実
 - ・ 医療の充実
 - ・ 食品安全性の確保

“ほとんどの人は、ご近所の方と挨拶をしている（聞いていない人を除くと100%）”

- ・ イベントに参加する人より、参加しない人の方が多い
- ・ 一部に、組長だからというネガティブな回答もみられる
- ・ 行事の日時を知らないなど、情報不足の問題がみられる

- より多くの参加のために
 - ・ 内容の充実
 - ・ 声かけやPR
 - ・ 情報提供の充実

まとめ

- 年齢を問わず、誰もが参加できるイベントが必要！
- 行政として、①声かけのキャンペーン、②情報の提供、③支援 をするべき！

9班 「ひと」“あなたの理想の学校は？”

- ・ アンケート回答者総数35名のうち、30代が最も多く15名
- ・ 回答者の66%（23人）が市外の方で占められる

学生時代が楽しかったと答える人が8割以上を占める一方、今の学校が楽しそうと答える人は1割程度、3割の人が楽しくなさそうと答えている。

●カリキュラム

・基礎を固める授業

・行儀（道徳）を教えて

・京都に暮らすことを意識するカリキュラム

●教育のあり方の見直し

・ゆとり教育の見直し

・土曜日の授業の復活

●教師の負担軽減

・少人数制の強化

・一人一人を見守る姿勢

・教師の増員、副担任制

●教師自身

・人間的に信頼できる先生を！

・教える力をもっと高めて！

理想の学校像

●つながり

・子供の居場所づくり（放課後教室の活用による子供の居場所づくり）

・地域も一体となった防犯

制度	地域
教師	その他

●いじめ

・悩み相談の充実

・いじめの対応（ツール開発）

●親

・基本は親！

・親が関心をもって！

●風紀

・携帯電話禁止

・完全制服制

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Bグループ

共通テーマ

- 京都のまちをよりよくしていくためには、景観に関する意見が最も多く、観光、行政運営、交通、マナーに関する意見が続く
 - ・ 景観については、景観形成について賛同する意見が多く、建物の高さの規制や町家を活かしたまちづくりを望む意見が多い
 - ・ 観光については、今後さらに推進していく意見が多く、行政運営については財政の健全運営を望む意見が多い
 - ・ 交通については、駐輪場の整備や公共交通の利便性向上、マナーに関しては自転車利用マナーや路上喫煙に対する意見が多く見られる
- 京都市政に望むこととして、医療福祉対策、行財政効率化、都市環境改善、景観対策、不祥事撲滅、行政サービス向上、開かれた行政運営など、比較的多岐にわたる意見がみられる
 - ・ 医療福祉対策については、高齢者が暮らしやすい環境整備や施設の充実を望む意見が多いほか、都市環境改善では歩道の拡幅やバリアフリー化など、歩道環境の改善を望む意見が多い。
 - ・ 行財政効率化に関して多くの意見がみられるほか、職員不祥事に対する厳しい意見がみられる
 - ・ 行政サービスの向上については、改善されてきているという意見もあるものの、さらなる向上を求める意見が多く、開かれた行政運営では、市民の意見把握を求める意見がみられる

個別テーマ

いのち

- 高齢者が安心できる暮らし
 - ・ 都心部だけでなく周辺部の駅について、エレベーター等の設置を望む意見がみられる
 - ・ 住民同士の助け合いはあるが、世代間のネットワークが希薄といった意見がみられる。
- 地域と子育て
 - ・ 子育ての中心は母親が最も多く、祖父母からサポートを受けることが多い
 - ・ 子育ての不安として、保育所が少ない、地域に頼る人がいないといった意見がみられる

環境

- 歩いて楽しいまち
 - ・ 歩いて楽しい道として、二条城周辺や寺町、三条商店街などの意見がみられる
 - ・ これからの道づくりとして、自然と歴史が調和した道、安心安全な道づくりが求められる
- 美しいまちづくりのためのマナー
 - ・ トラブルなどからポイ捨てを注意する人は少なく、罰則強化を求める声が多い
 - ・ ゴミを持ち帰る人は4割程度であるが、ゴミ箱は無い方がよいとする意見がみられる

知恵

- 地域と大学の関わり合い
 - ・ 大学の役割として文化の発信や交流の促進への期待が多い
 - ・ 大学の講義やイベントの一般開放など、地域に開かれた大学を望む声が多い
- まちなかの景観政策
 - ・ 京都らしさを感じる場所として、寺社・仏閣が最も多く、次いで祇園、鴨川となっている
 - ・ 景観条例の規制は必要という方（33名）が不要という方（3名）を大きく上回っている

ひと

- 地域と市民協働
 - ・ 地域活動の現状は、継続的又は単発的に活動している人と、活動できてない人に大別できる
 - ・ やってみたい地域活動としては、清掃・美化活動や国際交流文化活動などの意見がある
- スポーツ環境
 - ・ 7割以上の人がスポーツをしており、施設利用しやすさや低料金化を望む声が多い
 - ・ 市有グラウンドの開放、小規模施設の分散配置、駅周辺への施設配置などの希望がみられる

刷新

- 市民の声の市政への反映について
 - ・ 意見を言ったことがある人は2割弱で、直接または投書によって意見を言っている
 - ・ 今後、ミーティングなどフェイストウフェイスなどの仕組みを充実することが求められる

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Bグループ（実施日：平成20年10月7日）

1班 「いのち」 “地域と子育て”

①誰が子育ての中心となっていますか？
1. 母（本人）39名
2. 祖母 2名
3. 夫婦 1名
4. 保育士 1名

②その方は誰から一番サポートを受けていますか？
1. 祖父母 22名
2. 夫 18名
3. 保育士
ベビーシッター
ケースワーカー 4名
4. 地域（同級生の母）3名
5. 親戚 2名
6. 友人 1名
7. なし 1名

③行政が行っている子育て事業を利用していますか。
YES:21 NO:22

子育てする中での不安

健康の不安
・子どもの病気
・小児科があまりない
・食の安全

経済的不安
・子どもを生んでも経済力がない
・一度やめると仕事できない

環境面での不安
施設：保育所はどこも満員
環境：緊急時に頼る地域との交流がない

共通テーマ

- 伝統産業や文化、自然景観、町家の保全
- 安全・安心で活気のある環境づくり
- 年金等の老後の保障、福祉の充実
- 教育の充実
- 情報公開、不祥事をなくすなど行政の対応改善
- その他
 - ・有料ゴミ袋 10l を作ってほしい
 - ・人が多すぎる
 - ・今のままでよい

2班 「環境」 “美しいまちづくりのためのマナー”

共通テーマ①

1位（15票） 行財政改革
2位（7票） 意識改革・都市整備
3位（5票） 観光
4位（3票） 景観・その他
1位～3位
「変わる」ことの必要性

共通テーマ②

1位（3票） ゴミの削減
2位（2票） 対外アピール
マナー啓発
現状維持
3位（1票） その他
・福祉の充実
・コミュニティの活用推進
・交通の便の改善

重マ個
要十々
性一人
のの

①ポイ捨て注意する？
Yes(13票) NO(52票)
・捨てるのはよくない
・トラブルが怖い

②ポイ捨ての罰則
Yes(51票) NO(8票)
・もっと罰則を厳しく
・注意ぐらいでよい

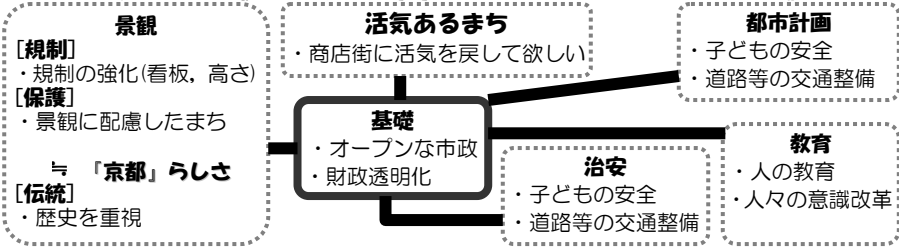
10年後の京都
☆行政への要望（10票）
・環境整備（3票）
・罰則強化（2票）
・その他（5票）
・市民の意識改革（2票）

③ゴミ持ちかえる？
ゴミ箱（33票） 持ち帰り（23票）
・あれば捨て・ゴミ箱は置かなくていい方がよい

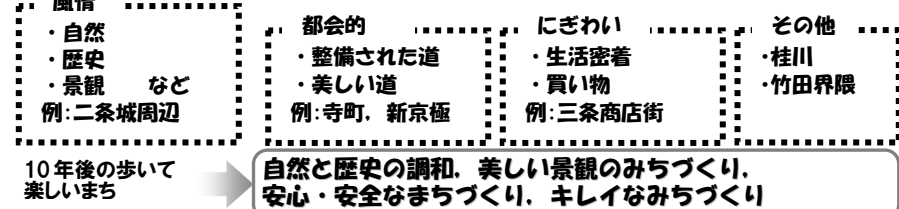
④美しいまちづくり活動
Yes(51票) NO(8票)
・もっと罰則を厳しく
・注意ぐらいでよい

4班 「環境」 “歩いて楽しいまち”

共通テーマ《より良い京都市のまちづくりのために・・・》



～歩いて楽しいまち～



5班 「知恵」 “まちなかの景観政策”

①らしさを感じる場所

1. 寺社・仏閣
 2. 祇園
 3. 鴨川
- その他・街の造り
・外国人が多い

②らしさは失われている？
YES:30 NO:7
【具体的には？】
○観光地の俗化
○ビル・建物の近代化

経済を重視しすぎたのでは？

③景観条例の規制は必要？
必要:33 不要:3
【自分なら受け入れられる？】
YES:21 NO:7

・費用・場所
・住環境への圧迫
・気持ち

10年後に期待することは？

新旧の調和を図り、京の景観を守っていく

ただし・性急に進めすぎない！
・住む人が住みやすいように！

『共通テーマ①京都のまちをよりよくする』
●都市・文化の保護 ●都市整備(交通規制など)
●生活環境(生活環境等の安定など)
●ゴミ問題(ポイ捨て禁止など)
●観光(案内の充実など) ●不祥事

『共通テーマ②京都市政に望むこと』
●福祉面(保育所の数が少ないなど)
●不祥事撲滅 ●現状維持
●その他(駐車場の整備など)

7班 「刷新」 “市民の声の市政への反映について”

『共通テーマ①』
[交通]
・交通マナーが悪い(違法駐車)
・駐車場の整備
[子育て・教育]
・教育面でしつけを重視
・3人以上の子どもを生むことのできる環境づくり
[福祉]
・地域活動の活発化
・介護施設を充実させて欲しい
[観光]
・古い町並みを大切に
・京都市のブランドに頼り過ぎない

『共通テーマ②』
●市民の声を聞く
●福祉の充実(医療、老後の安心)
●交通整備(駐輪・駐車場など)
●財政の充実(無駄使いをしない)

Q市政に対して意見を言ったことがあるか
YES:5 NO:29
Q方法は
●直接窓口へ
●投書
●TV出演

市民の声の市政への反映について

[FACE to FACE]

- アンケート
・街頭アンケート など
- ミーティング
・意見を出せる環境づくり など
- 地域団体を通して
・町内会の回覧の活用 など

[インターネット投書]

8班 「ひと」 “地域と市民協働”

『共通テーマ①』

○その他
・今でも十分よい
・税金の無駄使いをなくす
○まちづくり
〈景観〉〈文化・観光〉〈都市計画〉
○地域の活性化とコミュニティ
・町内のふれあいを増やす
・若者が多く住み、若者の力が活きるまちになって欲しい

『共通テーマ②』

○文化
・外国人への関わりを工夫
○安全
・安全なまち
○福祉
・お年寄りに優しいまち
・福祉の活性化
○信頼
・不正がないように
・職員の専門知識の向上
○コミュニティ
・地域コミュニティの活性化
○交通
・駐輪場をつくって欲しい

個別テーマ①

活動している
継続的活動
・PTA活動 など
単発的活動
・町内でのクリーン作戦 など
活動していない
・時間がない

個別テーマ②

清掃・美化活動
・町内のそうじ
お年寄り・障害者
子供等福祉
・福祉に貢献したい
国際交流文化活動
・文化知識を活かす
・案内ボランティア

個別テーマ③

・福祉を充実して欲しい
・市が責任を持ち地域はボランティア
・最低限自分ではできないことは自分でする

3班 「知恵」 “地域と大学の関わり合い”

＜共通テーマ②＞

- ・環境に配慮
- ・景観条例の緩和
- ・道をもっと広く
- ・高齢者に優しいまちづくり
- ・渋滞解消
- ・バスの利便性(料金・便数)向上

景観

環境

交通

＜共通テーマ①＞

- ・建物の高さ規制
- ・放置自転車対策
- ・緑の増加
- ・駅をきれいに
- ・パークアンドライド
- ・改札口を多く

＜10代、20代＞

- 個別①
- 新しい文化の発信
 - 国際交流の推進
 - 京都の案内人になる

＜30代～80代＞

- ボランティア参加・市民参加
- 学生生活の充実(学業、より元気に!!)
- 京都で就職
- 産学官連携(学生の力を企業、役所に生かす)

- 個別③
- 多世代参加型のイベント
 - 納涼祭や演劇などの文化を通しての交流
 - 大学の自由化(一般市民も講義が受けられる)
 - Give and take(学祭と地域イベントの相互参加)

- ボランティア(介護・ゴミ拾い)
- 自由に大学に出入りしたい(学食・図書館の一般開放)
- 区民運動会への大学生の参加

6班 「ひと」 “スポーツ環境”

- ・アンケート回答者総数42名で、男女が半数ずつ
- ・回答者は市内20名、市外21名

『共通テーマ 歩くまち京都』

- 駐輪場を設置
- ゴミ箱の増加

『共通テーマ 歴史都市京都』

- 街並保存(高さ規制、電柱の地中化等)
- 案内地図の設置

①現在、スポーツをしていますか
YES:26人 NO:10人
[体育館]バレーボール、水泳など
[グラウンド]テニス、野球、サッカー
[その他]アイスホッケー、ゴルフなど

短期的、長期的な提言

- ・インターネットでも予約できる様にする
- ・市が持っているグラウンド施設の開放
- ・小規模な施設を分散して設置
- ・地下鉄・バス停の近いところに施設を作る
- ・スポーツと福祉の融合

②身近にスポーツをする施設はありますか
YES:20人 NO:16人
[要望]・個人でも分かりやすい利用申し込み
・民間施設の低料金化
・公園等で球技ができるように など

9班 「いのち」 “高齢者が安心できる暮らし”

10年後の京都のまち

施設の充実
若者の協力

介護の人手不足
交流の場
高齢者への情報提供

京都市政に望むこと
●若者が元気なまち
●治安
●交流
●交通
●市民の目線から
●情報公開
●景観・伝統の保全
●福祉
●税金

個別テーマ①公共交通機関は高齢者に利用しやすいか？

●設備面
・階段が多い、EVを使いやすい場所に
●マナー
・市バスの運転の改善
●サービス
・定時運行、優先席の増加、ノンステップバスは便利、敬老乗車証

介護を受けるなら自宅 or 施設？

[自宅派]
安心できる、施設が近くにない(やむをえず自宅派)
[施設派]
融通がきく、家族に迷惑がかかる(やむをえず施設派)

個別テーマ②高齢者が安心できる住民同士の助け合いはあるか？

あり
・町内会での集まりがよくある
・マンションの管理組合が役割を果たしている
・世帯間のネットワークがない
・マンションなのであまり交流がない
・昔はあったかもしれない
・昔はあった
声かけ
見回り
活動(女性会等)
機会があれば

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Cグループ

共通テーマ

- 京都のまちをよりよくしていくためには、景観と交通に関する意見が特に多く、行政運営、観光、マナーに関する意見が続く
 - ・ 景観に関しては、良好な景観の保全や形成に対する肯定的な意見な意見が多く、町家の保全など京都らしいまちなみの保全・誘導を望む意見が多くみられる。
 - ・ 交通に関しては、バスの利便性向上に対する意見が多いほか、交通渋滞解消に向けた意見が多くみられる
 - ・ 行政運営に関しては、健全財政に向けた取り組みに対する意見がみられ、観光に関しては観光案内の充実、またマナーに関しては観光都市としてのマナーに関する意見もみられる
- 京都市政に望むこととして、行財政効率化、行政サービス向上、公共交通対策、不祥事撲滅が上位となっている
 - ・ 行財政効率化に関しては、税金の無駄遣いをしないようにとの意見が多く見られ、行政サービスの向上に関しては、窓口サービスの拡充を求める意見がみられる
 - ・ 公共交通対策に関しては、地下鉄、バスの運行本数の拡充を求める意見のほか、路線のわかりやすい行き先案内表示など、情報提供に関する意見がみられる
 - ・ 不祥事撲滅に関しては、今後、不正が無いようにとする意見が多くよせられている

個別テーマ

いのち

- 安心して暮らせる明るい社会のために
 - ・ 「京都市は安心して暮せるまちだ」と思う人が多い（YES：85%，NO：15%）
 - ・ 今の暮らしで不安に感じることは、医療体制、自然災害、子供の安全を挙げる人が多い
- いきいきとした長寿社会を目指すために
 - ・ 福祉施策については、利用者負担が大きいことや行政のフォロー不足への不満がある
 - ・ 将来一番不安に感じることは、年金や老後の生活を挙げる人が多い

s 環境

- 住みよいまちづくりを目指して
 - ・ 交通基盤については、路線が整っていること等から十分に整っているとの意見が多い
 - ・ 十分に整っていない理由としては、バリアフリー対策が十分でないこと等の意見がある
- 環境にやさしいまちをつくるために
 - ・ 環境に対する不満としてタバコのポイ捨てや河川に不法投棄が多いこと等の意見がある
 - ・ 環境を守るための取組としては、節電やエコバックの持参、清掃活動等の意見がある

知恵

- 伝統産業の活性化を目指して
 - ・ 京都の伝統産業を尋ねると、西陣織と答える方が多く、次いで清水焼、京友禅となっている
 - ・ 活性化に向けて必要なこととしては、PR、人材育成、教育・体験学習等の意見がある
- いつでも訪れたい「まち」を目指して
 - ・ 清水寺や嵐山等の著名な観光地へは、市民も含め、ほとんどの人が訪れたことがある
 - ・ 10年後に必要な施策としては、公共交通網の充実、景観づくりという意見が多い

ひと

- 市民レベルでの国際交流を目指して
 - ・ 若い人ほど、外国人と接する機会を持っており、また、接する機会が欲しいと思っている
 - ・ 言葉や習慣の違いが支障となっており、必要な施策として外国語教育の充実等の意見がある
- 市民ぐるみの人づくり
 - ・ 子どもに関わるボランティアに参加したことがある方が半数以上を占めている
 - ・ 地域コミュニティの形成のためには、機会や施設の提供、学校等での教育などが考えられる

刷新

- 暮らしに役立つ広報について
 - ・ 市民新聞については多くの市民の方に読んで頂いている
 - ・ 行事・催しに関する情報が求められており、更なる内容の充実と読みやすさの向上を図る必要がある

「次期京都市基本計画策定支援チーム」Cグループ（実施日：平成20年10月14日）

1班 「いのち」“安心して暮せる明るい社会のために”

＜共通テーマ＞より良い市政運営	
「環境」 ・環境対策を浸透させる ・環境対策は積極的に進められている	「景観」 ・観光面での活性化を図ること ・観光・自然の維持保存と利便性・都市機能との両立
「福祉」 ・医療・福祉の充実 ・救急体制を充実させる	「地域」 ・自治組織の強化 ・商店街の活性化
「教育」 ・地域に子育ての拠点を設ける ・子供の安全を大切に ・子供教育等の施策の充実	

＜個別テーマ＞	
○京都市は、安心して暮せるまちだと思いますか？ YES：85% NO：15%	○今の暮らしで、生活の安全に関わり、安心できることはありますか？ 1. 防犯 2. 交通安全 3. 医療体制
○今の暮らしで、生活の安全に関わり不安に感じることはありますか？ 1. 医療体制 2. 自然災害 3. 子供の安全	

2班 「いのち」“いきいきとした長寿社会を目指すために”

・アンケートの回答者数は計30名で、そのうち、男性が12名、女性が18名であった。

《共通テーマ》

①について：観光都市京都としての視点をもつこと（更に充実との意見と反対意見の両方あり）

②について：業務の効率化、職員削減

《個別テーマ》

①身近な方に介護保険サービスを利用している人がいますか？ YES：16人 ・ホームヘルパー(6) ・介護保険施設への入所(6) ・デイサービス(4) ・ショートステイ(3) ・住宅改修や福祉用具の購入(2) NO：14人	②京都市の福祉政策に満足していますか、③それはどのような点でそう思われますか？ ア. 大変満足している(0) イ. やや満足している(11) プラス意見 1. 職員の対応が良い 2. サービスが豊富 マイナス意見 1. 制度上不便がある 2. 職員の対応向上を望む	ウ. やや満足していない(7) マイナス意見 1. 施設の安全面や利用のしにくさ 2. 制度上の問題等 3. 利用者負担が大きい エ. 全然満足していない(8) マイナス意見 1. 利用者負担が大きい 2. 行政のフォロー不足
---	--	---

④将来一番不安に感じていることは何ですか？
・年金がどうなっていくか
・老後の生活

10年後の京都のまちに必要な福祉
●ハード面(道路の死角をなくすなど)
●福祉が必要になった時の即時対応できる環境づくり
●市がもっとしっかりする

3班 「環境」“住みよいまちづくりを目指して”

・アンケートの回答者数は計50名で、そのうち大半が女性(32名)であった。

・回答者の居住地は、市内が31名、市外が19名であった。

＜個別テーマ＞	
○京都のまちの交通基盤は十分に整っていると思いますか？ [YES：33]	[NO：17]

●料金が安い ●路線が整っている ・車がなくても公共交通で行きたいところへ行ける ●本数が多い ・バスの本数が多い ●道路は十分 ・昔からの道路が残っているが支障はない ・道がわかりやすい	●料金が高い ・バスが高くつくので乗り続けるように ●路線が整っていない ・地下鉄が途中で止まっている ・竹田以南の公共交通が不足 ●バリアフリー
---	--

「共通テーマ」

●公共交通の充実
[地下鉄]
・地下鉄路線の延伸
・地下鉄の利用者を増やす
[バス]
・本数の増加

●道路の整備
・交通渋滞の解消
・高速道路の整備

●マイカー規制
●バリアフリーの促進
・エレベーター、エスカレーター整備

●景観政策
・強化と緩和の両方の意見あり

アクセス向上

4班 「環境」“環境にやさしいまちをつくるために”

環境に対する不満	環境を守るための取組
● ゴミ ・タバコのポイ捨て ・ゴミだしまナーの不徹底 ● 緑 ・公園が欲しい ● 河川 ・不法投棄が多い ● 空気 ・排気ガスで空気が汚い ● その他 ・環境に悪いものに課税	● 省エネ ・車に乗らない ・節電(こまめに電気を消す) ● ゴミ ・ごみの減量 ・エコバックを持ち歩く ● 清掃 ● その他 ・町家生活を、今後も守っていく

10年後の京都

●緑を増やしたい ●車を減らして欲しい ●ゴミのポイ捨てをなくす ●ゴミ分別の充実 ●市民意識の向上	●環境と観光のバランスが重要 ●ゴミの捨て方の意識徹底のため教育段階から周知
--	---

共通テーマ

○市政全般
・国際的な視点で取組

○地域社会
・地域社会の充実

○モラル
・タバコのポイ捨て

○福祉
・高齢者や障がい者対策
・育児支援の充実

○交通
・道路整備(歩きやすい街)

○観光
・観光案内の充実

○教育
・子供の教育の充実

○景観
・景観の維持・向上
・町家への支援

5班 「知恵」“伝統産業の活性化を目指して”

＜共通テーマ＞京都市に望むこと

○公共交通機関
・バスの系統を分かりやすく
・観光案内が分かりにくい

○道路・都市基盤の整備
・道路事情を改善して欲しい
・自転車でも走りやすい道にして欲しい

○まちなみ
・古い町並みの維持
・町家や伝統行事といった観光資源を大切に

○ゴミ問題
・タバコのポイ捨てをなくす
・分別簡単にしてほしい

○行政サービス
・職員の不正が起こらないように
・サービスの向上

○人権差別をなくす

個別テーマ①「京都市の伝統産業といえは？」
1. 西陣織 53%
2. 清水焼 12%
3. 京友禅 6%
その他、京たたみ、竹工芸など29%

個別テーマ②「伝統産業の日」を知っていますか？
知っている・・・39%
知らない・・・61%

「伝統産業の日」は知らなくても、イベントは知っているという人もいました。

伝統産業の活性化に向けて必要なこと

●PR(市民に身近に知る機会を増やして欲しい)

●人材育成(後継者の育成)

●教育・体験学習(学校等で子供達への体験学習)

●若者への取組(若者向けの製品をつくる)

●国への要望(税制面の改善)

●その他(着物を着る人を大切に)

6班 「知恵」“いつまでも訪れたいくなる「まち」を目指して”

・アンケート回答者数は計47名

・回答者の大半が女性(33名)

・回答者の居住地は市内26名、市外17名

・年齢は20代が最も多く14人、職業は会社員・公務員の16人が最多

①今までに訪れた観光地

ア. 清水寺	46名	イ. 銀閣寺	40名
イ. 嵐山	43名	オ. 南禅寺	31名
ウ. 金閣寺	40名		/47名

②京都市は観光客にとって満足できる都市ですか？

YES:38 [理由]・歴史的な建物
・豊かな自然
・交通の便(市バスが充実)

NO:6 [理由]・交通の便(バスが混雑)
・歩道が狭い

Qよりよくするために必要なこと？

●地域の輪(ふれあい)
●交通(自転車)安全
●古い建物の保存

Q京都市政に望むこと

●暮らし全般
・社会資本(自転車施策の充実、安全に歩けるように)
・産業振興(新たな産業育成)
・文化交流(大阪、神戸、奈良との連携)
・教育(放課後活動の充実)
・環境(ゴミ有料化を役立てて欲しい)

☆10年後に必要な施策は？

ア. 宿泊施設の充実	5
イ. 公共交通網の充実	12
ウ. 新たな観光資源の開発	4
エ. イベントの開催	6
オ. 観光案内の充実	10
カ. 観光ボランティアの育成	8
キ. 景観づくり	11

7班 「ひと」“市民レベルでの国際交流を目指して”

＜共通テーマ＞

① よりよいまちづくりのために

[道路・交通に対して]
・市外の交通の便が悪い
・交通アクセスの整備
・街灯の数を増やす

[景観]
・景観を守るための建物の規制

[環境の保全・改善]
・ゴミ・ポイ捨てをしない

[市民の意識]
・京都の人が京都の良さ、歴史をきちんと学ぶ

② 京都市政に望むこと

[歴史や文化を守る]
・伝統的なよさを守っていく

[職員に対して]
・責任感の向上
・市民の立場の理解

＜個別テーマ＞

	年代別	YES
①今まで外国人と接する機会がありましたか？	10代～30代	75%
	40代～60代	71%
	70代以上	48%
②今後外国人と接する機会が欲しいですか？	10代～30代	83%
	40代～60代	75%
	70代以上	29%
③外国人と接する上で支障となることは何ですか？		
問題点	言葉：言葉が通じない 習慣：生活習慣の違い	
必要な施策	語学：外国語教育を増やしていく 施設・制度の充実：ホームステイの充実 啓蒙活動と他文化理解：交流の場を増やす	

8班 「ひと」“市民ぐるみのひとづくり”

☆ 地域コミュニティの形成

●機会の提供(ソフト) まつり、〇〇教室 など

●施設の提供(ハード) 公園、図書館、集会所 など

●教育(親、学校、地域)

●防犯(安心・安全)

アンケート結果

○子どもに関わるボランティアに参加したことがある	ハイ53%
○そうしたボランティアに今後参加したいと思う	ハイ83%
○市民みんなで子どもに関わることは大切だと思いますか。	ハイ100%

9班 「刷新」“暮らしに役立つ広報について”

＜共通テーマ＞

○景観・観光
・京都らしい景観を守って欲しい

○交通
・交通渋滞の緩和

○福祉
・福祉・医療施設の充実

○市民対応
・市民目線でもっと丁寧な対応を

○規制
・未成年者等の喫煙禁止

○教育
・子どものしつけをしっかりと

○ゴミ・まち美化
・ゴミの少ないまち

○駐車場
・駐車場を増やして欲しい

○経済
・財政を立て直すこと

○その他

市民新聞 YES

知っている人 86%
届いている人 80%
読んでいる人 80%

知りたい情報

1. 行事
2. その他
3. サービス
4. 政策・行政

よい方法

1. 市民新聞
2. インターネット
3. テレビ
4. ラジオ
5. 回覧板
6. その他(掲示板など)

☆ 多くの市民の方に読んで頂いている。

☆ 行事・催しに関する情報が求められている。さらに“その他”の内容(住宅、介護、お店、コンサート、スポーツ、セミナー、ゴミ分別、子育て、ボランティア)。

☆ 紙ベースの市民新聞は必要。但し、もっと読みやすくすべき。
将来的には、“その他”の内容も盛り込む。